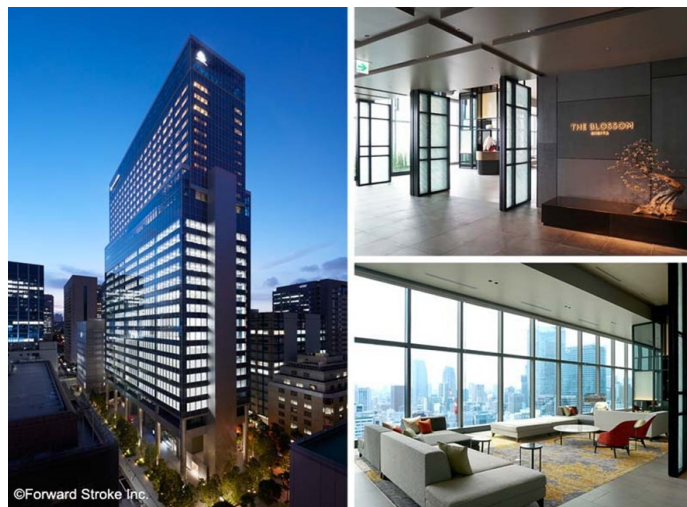


外観 ロビー



複合ビルの高層階に位置し、都心の眺望が堪能できるロビーは、宿泊者が客室以外でもゆったりくつろげる場所になっている。

プレミアムツイン



リビングルームとベッドルームを設け、広々とした空間でゆったりと過ごすことができる61㎡の客室。インテリアはミディアムカラーでまとめている。

プレミアムダブル 洗面・バスルーム



グレー系でコーディネートされた水まわり空間。1624サイズのバスルームは、プレミアムツインと同仕様の重厚感のある空間になっている。

プレミアムダブル トイレ



落ち着いた雰囲気トイレ空間。洗面・バスルーム空間から独立して設けられたトイレには、コーナースペースを活用して小型の手洗器が設置されている。

プレミアムツイン 洗面・バスルーム



洗面コーナーは、2名が同時に使用できる洗面器を設置。浴室は開放感を演出するテンパードアを選定した。

プレミアムツイン バスルーム



1624サイズのバスルームは、オーバーヘッドシャワー、スーパーエクセレントバス、バス水栓GRシリーズを設置。壁は、ページュ系石目調タイルを選定し、優しい雰囲気の中で非日常的な空間を演出している。

デラックスダブル



二面採光の窓から日比谷公園の緑を見渡すことができる31㎡の客室。ベッド背面の窓の一部には、オリジナルの和紙がはめ込まれた建具を設置し、障子のような柔らかな日差しが入るように工夫されている。

デラックスダブル 洗面・バスルーム



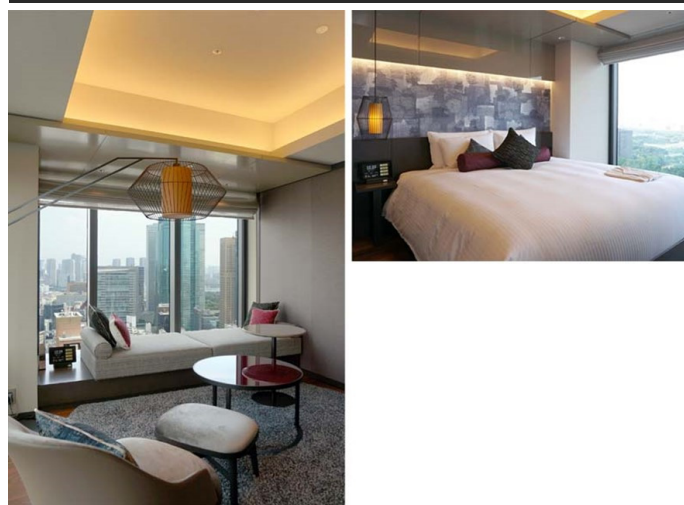
洗面器は、リム高さを抑えたハーフベッセルタイプを設置。顔を明るく照らす照明付き鏡で、身づくろいがしやすい環境を整えている。1418サイズのバスルームには、オーバーヘッドシャワーを設置している。

プレミアムツイン トイレ



大便器は、コンパクトでデザイン性の高いローシルエットタイプのウォシュレット一体形便器とスティックリモコンを設置。独立して設けられたトイレには、小型の手洗器が設置されている。

プレミアムダブル



インテリアをダークカラーでまとめた53㎡の客室。行燈をイメージさせる和洋折衷デザインの照明が、より落ち着いた空間を演出している。

スタンダードツイン



スタンダードツインは、ベンチタイプのソファ、コーヒーテーブルなどの家具を備えた25㎡の客室。オリジナルの和紙を貼りあわせたアクセント壁が印象的な空間を演出している。

スタンダードツイン バスルーム・洗面トイレ



1416サイズのバスルームは、ゆったりとした入浴感が楽しめるラウンド浴槽を選定。洗面トイレ空間は、デラックスタイプと同仕様の上質な設えになっている。

ユニバーサルシングル



ほかの客室と同様に上質な設えの22㎡の客室。通路幅を広く確保し、スイッチや家具、小物、アメニティの配置にもこだわり、さまざまなお客様にやさしく使いやすいユニバーサルタイプになっている。

ユニバーサルシングル トイレ・洗面

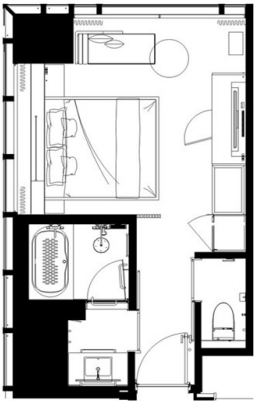
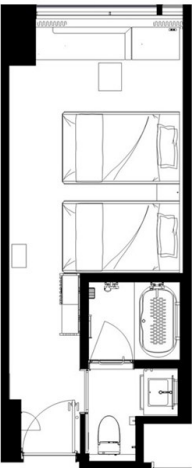


便器まわりは、手すりを充実させ余裕のあるスペースを確保している。また、車いす使用者の利用に配慮し、足元がオープンな洗面カウンターを設置している。

デラックスダブル・スタンダードツイン 図面

スタンダードツイン

デラックスダブル



デラックスダブルは、二面採光の角部屋で、バスルーム・洗面とトイレをセパレートしたタイプ。客室数が最も多いスタンダードツインは、水まわりをコンパクトにまとめている。

ユニバーサルシングル バスルーム

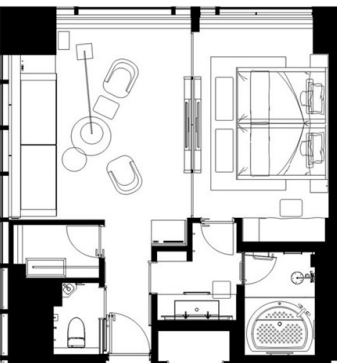
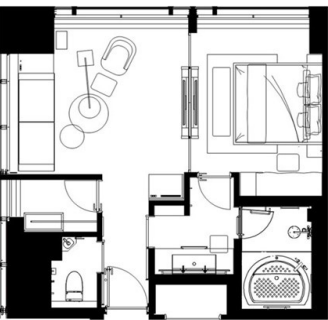


1418サイズのバスルームは、開口幅が広く出入りがしやすい2枚引戸を採用。出入口の段差をなくし、手すりと棚を充実させている。また、浴槽はまたぎ部分が低く、入りやすさに配慮した形状の浴槽を選定。

プレミアムツイン・ダブル 図面

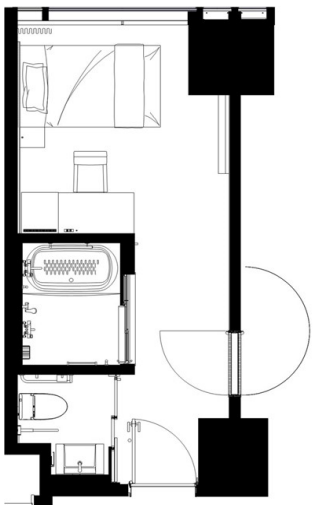
プレミアムツイン

プレミアムダブル



プレミアムツインとプレミアムダブルは、高層階からの眺望を楽しめる二面採光の角部屋で、充実した収納スペースを備えている。水まわりはバスルーム・洗面・トイレが独立したセパレートタイプ。

ユニバーサルシングル 図面



さまざまな身体状況のお客様に配慮して通路幅を広く確保。洗面・トイレ・バスルームの扉は2枚引戸を選定し、開口幅を確保している。また、隣室とコネクティングルームにすることが可能な仕様になっている。

ロビー階 男性トイレ・女性トイレ



ロビー階にあるパブリックトイレは、ダークブラウンを基調とし、間接照明が印象的な重厚感のある空間を演出。床の清掃性や節水性に優れた、壁掛式自動洗浄小便器を設置している。

ロビー階 多機能トイレ

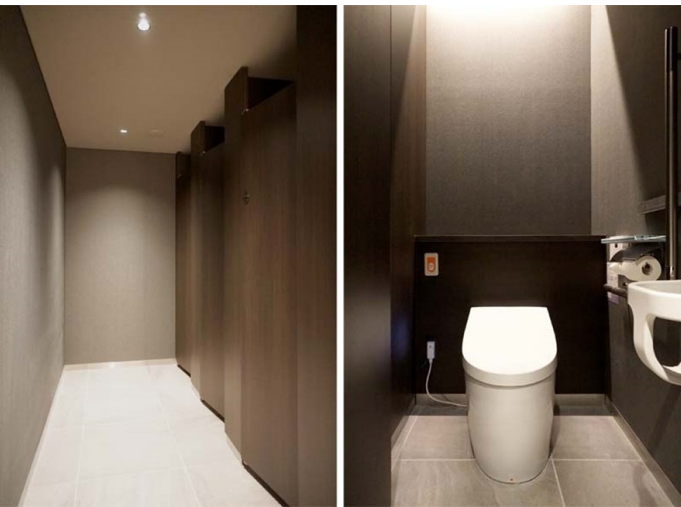


さまざまな利用者に配慮して、コンパクト多機能トイレパック(車いす・オストメイト対応セット)とベビーシート、クリーンドライを設置している。

建築概要

名 称	THE BLOSSOM HIBIYA
所 在 地	東京都港区新橋1-1-13
施 主	九州旅客鉄道株式会社
運 営	JR九州ホテルズ株式会社
設 計	<基本設計>株式会社 日建設 <実施設計>株式会社 大林組 <ホテル内装設計>株式会社 久米設計
施 工	株式会社 大林組
竣 工 年 月	2019年8月

ロビー階 男性トイレ・女性トイレ



大便器ブースは、使用されていないときに扉が一定の角度で止まり、ブース内部が見えにくい仕様になっている。大便器はデザイン性の高いネオレストAHを設置。1ヶ所にはベビーチェアと手すりを設置している。

ロビー階 授乳室・水まわり図面



男女トイレの通路一角に、個室タイプの授乳室を配置。ベンチタイプのソファと、自動水栓(湯水切替タイプ)付きの小型手洗器を設置している。

水まわりの特長

<建物の特徴>
THE BLOSSOM HIBIYAは、JR九州ホテルズ株式会社が運営する宿泊主体型ホテルにおける最上位ブランドの旗艦ホテル。羽田空港や成田空港、東京駅からのアクセスに優れた立地で、オフィス・ホテル複合施設の高層階に位置し、窓に広がる都心の眺望が堪能できる。客室やプレミアム感のあるパブリックスペースは、日本の伝統的なデザインや素材を取り入れた和洋折衷の内装空間になっている。

<客室・水まわりの特長>
客室のタイプは、部屋の大きさやベッドのサイズによって9タイプに分かれており、幅広いニーズに対応。海外からのお客様や長期滞在のニーズに応え得る広めの客室は、ゆったりとした滞在を楽しむことができる。バスルームは、全タイプの客室で洗い場付きのユニットバスを設置。プレミアムやデラックスタイプの客室では、高級感のある石目調タイルや、人工大理石の浴槽が非日常感を演出。トイレはコンパクトでデザイン性の高いローシルエットタイプのウォシュレット一体形便器とスティックリモコンを採用している。また、さまざまな利用者の方に対応できるユニバーサルタイプの客室も、他客室と同様の上質な設えで、おもてなしの空間を提供している。